

## 中国における「池田思想」研究の動向（15）

高橋 強

### 1. 池田思想研究の学術シンポジウム等

#### (1) 第12回「池田大作平和思想研究国際フォーラム」

2018年3月2日台湾台北市の中国文化大学にて、学者30名、学生約400人が参加し、「平和・文化・教育——人権の世紀へ、民衆の大河」というテーマのもと、上記フォーラム（同大学「池田大作研究センター」主催）が開催された。同フォーラムでは22大学から28名の学者が論文を発表した。

今回のシンポジウムのテーマには、そのサブタイトルとして「人権の世紀へ、民衆の大河」が付されている。それは同年1月に発表されたSGI提言のタイトルである。論文のキーワードとして同SGI提言を取り上げているのが劉焜輝教授（中国文化大学）であったので、ここでは同教授の論文要旨を紹介する。

2018年のSGI提言は「人権の世紀へ、民衆の大河」がテーマであるので、本論文では、人権教育の本質及び青年の人権問題に対して堅持すべきものに関してその理論的基礎を探求する。人権教育の内容は国連の「世界人権宣言」に立脚し、今日的問題—核廃絶問題、難民問題、高齢者問題、持続可能な発展の問題に対し如何に有効的な措置を講ずることができるかが、現代の国家には試されている。

青年の人権教育に対して堅持すべきものは、(1) 青年は人権教育の重要な存在で、知識に留まるのではなく、行動が必要である、(2) 他者との共生理念を有し、多様性への認識や共生意識を有することが重要である、(3) 戦争の悲惨さや核廃絶の思想を伝えていくことが必要である、(4) 寛容の思想を持つことが必要である。寛容とは他者の心を主体的に擁護することで、青年は崇高な精神を持って行動に移していかねばならない。

多くの国においては人権教育を国家の教育政策の一環としているが、人権に違背した措置が依然として存在し、遅れた人権教育の内容が拭い去れていない。従って人権教育だけを語るのではなく、人権教育は時代の最先端の、また知行合一の人権教育であるべきである。

以下、「会議日程」に基づき発表論文のテーマを紹介する（以下敬称略）。

午前中、以下の基調講演と分科会が開催された。

#### 基調講演

趙建民「台湾海峡の平和—池田会長と張理事長との会談から」（中国文化大学）

#### 第1分科会

高橋強「教育者池田大作から見た張其昀—『教育と文化の王道』を通して—」（創価大学）

王萬清「心理学を運用し創価教育の目的である幸福を实践する」（台南科技大学）

胡金定「私の知っている創価学会」（日本・甲南大学）

劉廷揚「池田大作先生の『平和共生思想』をもって環境の危機を解決する根本の道とする」（高雄師範大学）

#### 第2分科会

陳鵬仁「池田大作の世界交友録」（中国文化大学）

鄭鑑鏘「人道の世紀に向かう新人類の新しい世界」（南台科技大学）

吳啓新「人を以て本となす理念の实践—社会的企業における労働価値の創造」（中正大学）

吳世全「人を以て本となす理念の探求—池田大作思想と設計思考の共通性」（中原大学）

#### 第3分科会

劉焜輝「人権教育の本質及び青年の堅持すべきもの」（中国文化大学）

林瑞明「池田大作『SGIの日』記念平和提言中の言葉の使用頻度の分析」（東亜技術学院）

蔡明発「『自由、平等、博愛』とナポレオン精神の新世紀平和への路」（明新科技大学）

何佳玲「高齢化社会における第三の人生についての考察」（淡江大学）

午後、以下の分科会が開催された。

#### 第1分科会

林彩梅「大学教育の使命—青年の力で希望の黎明を」（中国文化大学）

吳安妮「池田大作先生の哲学思想の企業『創新戦略』要件に対する影響」（政治大学）

林欣美、吳明傑「池田大作人間主義思想と実践を理論的基礎として企業の社会的責任を探求する」（建国科技大学）

周健「戦争か平和か、それが問題である」（中国文化大学）

#### 第2分科会

黃麗鴻「二十一世紀の平和教育—『平和の世紀の夜明け』を通して」（台湾首府大学）

楊統研「生命教育と持続可能な発展」（経国管理暨健康学院）

卓琬真「哲学の触発、共生の善を通し、平和文化運動の拡大を」（修平科技大学）

陳勁廷「オーストリア経済学派の牧口常三郎価値論に対する影響」(東華大学)

### 第3分科会

林廷璘「池田大作平和共生精神の永久的新価値の創造」(致理技術学院)

黃大璋「池田大作世界市民理念と創価教育の大学教育に対する啓発」(台北城市科技大学)

周建亨「素食の推進で平和対談の契機を啓発する」(中国文化大学)

李彦良「人権時代と民生時代」(中国文化大学)

### 第4分科会

唐彦博「池田大作の人間と自然の共生思想から中国生態文明の建設を考察する」(台北海洋技術学院)

葛瑞森「Zen and the Art of Motorcycle Maintenance」(中国文化大学)

李振明「文化のルーツを尋ねる、台湾美術百年史構築」展に体现された池田大作文化・教育理念」(台湾師範大学)

賴瑛瑛「芸術の社会的影響力」(台湾芸術大学)

## (2) 第15回「サービス業管理とイノベーション」学術シンポジウムでの基調報告

5月17日台湾台南市の南台科学技術大学にて、上記学術シンポジウム(同大学商管学院、国立澎湖科学技術大学人文管理学院、中華サービス管理協会主催)が開催され、「企業倫理の新時代の様相」のテーマのもと4名の研究者による基調報告が行われた。

発表者とテーマは以下の通りである。

林彩梅「平和共生倫理に基づく経営の優位点について」(中国文化大学)

高橋強「『利、善、美』の価値創造間の関係を論ずる」(創価大学)

唐彦博「池田大作の新時代企業倫理観」(台北海洋技術学院)

劉廷揚「『対等な対話』を以て社会の新倫理関係を開く」(高雄師範大学)

## (3) 日中国交正常化提言50周年記念「日中新時代フォーラム」

9月8日八王子市にある創価大学にて中華日本学会の研究者を招き、上記シンポジウムが開催された。11大学・機関からの14名の研究者が発表した。発表者、発表テーマは以下の通りである。

### 基調報告

王榮華「人類運命共同体とアジアの未来」(復旦大学)

西園寺一晃「池田日中提言の歴史的意義」(東日本国際大学)

賈蕙萱「池田提言の物語を振り返り、その意義を知る」(北京大学)

玉井秀樹「日中新時代への指針：人間共和の連帯をアジアから世界へ」(創価大学)

#### 第1分科会

王鉄軍「池田会長の『共生』の時代性」(遼寧大学)

胡令遠「池田提言と中日の4つの政治文書について」(復旦大学)

汪鴻祥「池田提言と新時代日中関係」(創価大学)

#### 第2分科会

葛建華「The feasibility study of Sino—Japan building a community of shared future for mankind」(天津社会科学院)

裴桂芳「南アジアにおける中日インフラ整備の合作」(河北大学)

杉本一郎「日中経済連携の経済効果」(創価大学)

#### 第3分科会

陳秀武「池田大作先生の理念を高揚し、アジア文明の持続可能な発展を推し進める」(東北師範大学)

陳多友「仏教の中国思想文化に対する影響について」(広東外語外貿大学)

高橋強「池田大作の『日中友好』思想とその実践」(創価大学)

樋口勝「社会主義中国と創価思想」(創価大学)

#### 記念講演

宮本雄二「軋む戦後国際秩序とあるべき日中関係」(元駐中国日本大使)

程永華「中日の新時代を切り開くために」(駐日本中国大使)

#### (4) 第10回「池田大作思想国際学術シンポジウム」

10月27日、28日上海市にある復旦大学にて、「人類運命共同体のビジョンと実践－日中平和友好条約締結40周年、池田提言50周年記念」のテーマのもと上記シンポジウムが開催された。これには中国国内外の53大学・機関から研究者約160名が出席した。提出論文は74本であった。

今回のシンポジウムはメインテーマにあるように「人類運命共同体」ということもあり、74本の論文中21本がメインテーマと直接関連があった。どのような観点からの考察であるのかを回顧すると以下のような観点があげられる。「全地球的倫理と国際法治」、「池田大作平和主義」、「池田大作平和共生思想」、「池田大作の人類運命共同体への論述」、「共生と対話」、「共生」、「池田大作文明対話思想」、「池田大作運命共同体思想」、「共生の原則」、「池田大作平和観」、「池田大作平和主義思想」、「新世代の青年の価値」、「人間革命」、「池田大作仏学思想」、「池田大作の平和教育

思想]、「大学の思想政治教育」、「地球民族主義」、「池田大作の人類運命共同体構築の過程」、「池田大作の人間主義」、「宗教」、「平和友好」で、そこにおけるキーワードは“平和”“共生”“対話”があげられる。

さらにまたサブテーマにあるように「池田提言50周年記念」ということもあり、74本の論文中7本が池田提言に関するものであった。その考察の観点は、「池田の『文化、教育、青年』交流を中心として」、「その背景」、「歴史的意義」、「歴史的意義と現代への示唆」、「新時代の中日関係への示唆」、「『新・人間革命』（友誼の道）との関係」、「池田大作の訪中足跡」で、日中友好の未来展望を開く内容であった。

以下は提出された論文である（「会議手冊」掲載順、敬称略）。

10月27日午後

「平和主義」セッション：

- 曹剛「人類運命共同体、地球倫理と国際法治」（中国人民大学）
- 紀亜光「周恩来、池田大作の尽力した中日友好の時空的定位」（南開大学）
- 高岳倫「池田大作平和主義の人類運命共同体構築に対する価値」（仲愷教育基金会）
- 羅国振「共生と対話：“人類運命共同体”の文明的内包と構築過程」（華東師範大学）
- 曲徳林「“共生気質”から“人類運命共同体”の構築を解き明かす」（清華大学）
- 劉愛君、鄭培国「池田大作の“人類運命共同体”に関する論述とその実践」（大連工業大学）
- 馬利中、王志敏「『一帯一路』と中日協力」（上海大学）
- 李彦良「偽りの平和と真の暴力」（中国文化大学）
- 王沢応「池田大作の運命共同体及びその建設思想を論ずる」（湖南師範大学）
- 高橋強「68年『池田提言』と日中友好の未来展望—池田の「文化、教育、青年」交流を中心として—」（創価大学）
- 魏明超、蔡立彬「人類運命共同体は如何にして可能となるか—“人間革命”を語りながら」（仲愷農業工程学院）

「文化主義」セッション：

- 拜根興「池田大作、王蒙『未来に贈る人生哲学』を読む」（陝西師範大学）
- 譚桂林「池田大作の文学批評を論ずる」（南京師範大学）
- 冉毅「池田の詩歌—民衆の精神的故郷」（湖南師範大学）
- 董芳勝「脳科学から音楽の人間革命論の意義を解析する」（創価大学）
- 張昌玉「牧口常三郎の“地”観—『人生地理学』を例として」（中国人民大学）
- 劉繼生「価値創造と仏教哲学」（創価大学）
- 三浦大樹、河瑛愛「日韓関係の中の池田大作に関する思想：特徴、焦点、含意」（韓国・慶熙大学）
- 陳毅立、馬利中「近代日本の日蓮主義及びその特徴」（同濟大学、上海大学）

陳多友「仏教の中国の思想文化に対する影響—池田大作人間主義思想を語りながら」(広東外語外貿大学)

陶金「池田大作の“人間論”的対話思想の中の東方仏学理念」(大連海事大学)

「教育主義」セッション

陳志興、張帥飛「人類運命共同体の視野の下で池田大作平和教育思想を探求する」(南昌大学)

陳鵬仁「池田大作の世界交友録(2)」(中国文化大学)

小山内優「創業者池田先生の提言とその背景」(創価大学)

崔学森「壁内には花が咲き、壁外にはそれらが香る—日本国内と国外の池田大作思想への認識の隔絶」(大連外国語大学)

蔣菊「池田大作の人間主義教育思想における教師を論ずる—職業関心と意義」(肇慶学院)

謝忠璋「子供を中心とした教育の実現—青年教師の池田大作教育主義の実践」(台北市無界塾実験学校)

李鋒「池田大作の平和文化観に基づいた“文化対話”能力の養成を論ずる」(佛山科学技術学院)

浅井治「人類運命共同体と地球民族主義—“軍事競争”から“人道競争”に向かう」(広東外語外貿大学研究員)

曹婷、常娜「池田大作の人を本とした教育」(陝西師範大学)

「人間主義」セッション

胡金定「日中国交正常化提言の歴史的意義」(日本・甲南大学)

唐彦博「池田大作の老人の権利保護から中国の老人政策の発展を講ずる」(台北海洋技術学院)

傅紅英「池田大作の女性文明思想の研究」(紹興文理学院)

莊弘鈺「AI時代の人間主義—法学教育を中心として」(台湾交通大学)

陳逸倩「どうすれば日中友好を永遠に持続させることができるか」(復旦大学)

黄順力「池田大作の“民衆外交”思想—『池田提言』の歴史的意義と現実への啓発」(厦門大学)

胡令遠「“池田提言”と『新人間革命』」(復旦大学)

林昶「“池田提言”と池田大作の中国での足跡」(中国社会科学院)

汪鴻祥「池田提言及びその新時代中日関係への示唆」(創価大学)

暴鳳明「創価学会の入会の類型と信仰強化の類型の分析」(北京大学)

李朋飛「池田大作の慈善観」(中山大学南方学院)

10月28日午前

「平和主義」セッション

鐘明華「消費社会における“人間の尊厳”の実現」(中山大学)

張艷涛、張順鳳「池田大作の平和観と人類運命思想を探求する」(厦門大学)

- 章舜欽「池田大作の平和主義思想と人類運命共同体構築」(厦門大学)  
周建亨、林彩梅「平和共生経営倫理と世界の発展—その意義と実践」(中国文化大学)  
賈凱「池田大作の平和共生思想と人類運命共同構築の比較」(厦門大学)  
楊茜茜「人類運命共同体構築の基本的道德原則」(中国人民大学)

「文化主義」セッション

- 姚朝文「池田大作の仏学思想における人類運命共同体意識の表出」(佛山科学技術学院)  
樋口勝「馮契と創価思想の比較研究」(創価大学)  
卓光平「『人間学』談話：『精神革命』から『人間革命』への変遷——池田大作の魯迅人文主義思想への理解と再解釈」(紹興文理学院)  
松森秀幸「中日の仏教家居士・指導者間の交流—池田大作の心の中の趙朴初」(創価大学)  
李昌英「池田大作の生態哲学思想」(中山大学南方学院)

「教育主義」セッション

- 王夏冰「池田大作女性観と『中国近現代史綱要』改訂—中日関係史を中心として」(安陽工学院)  
張楠「池田大作の高等教育思想構想」(南京理工大学)  
蔡瑞燕「池田大作の人類運命共同体構築過程」(仲愷農業工程学院)  
浅井康子「“生命尊厳” 哲理に根ざした創価教育—福祉教育の実践からの考察」(広東外語外貿大学研究員)  
姜葦洋「人類運命共同体の視野の下での大学思想政治教育のプロセスを探る」(瀋陽工程学院)

「人間主義」セッション

- 李桂梅、柳柳「池田大作女性倫理想緒論」(湖南師範大学)  
韋立新「“新地球社会”の主役を創造—『新地球社会の創造』から池田大作の女性観及びその平和思想を考察する」(広東外語外貿大学)  
胡嘉明「現代の突破—池田大作の“人間主義”の仏教哲学解釈」(貴州大学)  
叢曉波「池田大作幸福思想の3つの境界」(創価大学)  
劉建榮、陳訪柔「新時代の嫁姑関係と家庭の幸福」(湖南師範大学)  
王麗榮、洪美玲「池田大作“人間主義”の視野の下での人類運命共同体研究」(中山大学)

「青年フォーラム」

- 李錦「宗教的平和と平和的宗教」(創価大学)  
馬曉敏「人類運命共同体の視野の下での周恩来と池田大作の平和友好の追求」(南開大学)  
何不為「池田大作の“人間主義”的教育観の儒教的起源」(貴州大学)  
何竟銘「大連外国語大学池田大作研究会の活動実践」(大連外国語大学)

王麗栄、龍維「池田大作の文明対話思想と人類運命共同体の構築」（中山大學）

潘承健「『人間主義』哲学の観点からの自明の選択」（貴州大學）

#### （5）その他（学部生、院生、学生団体等のシンポジウム）

① 5月26日仲愷農業工程学院にて、同学院「廖承志・池田大作研究会」主催の「同研究会設立3周年記念大会」が行われた。同大会では、指導教員の蔡立彬教授から設立の背景および意義が確認された後、中日友好の決意や日々の研鑽の成果が報告された。同大会には、創価大学からの留学生や、清華大学など他大学の学生も参加した。

② 12月1日中国文化大学にて、同大学「池田大作研究センター」主催の第6回「国際青年フォーラム」が「21世紀の青年—平和、文化及び教育」と題して行われた。これには12の大学から約200名が参加した。発表論文は15本であった。以下、分科会順に発表者とテーマを紹介する。

##### 「第1分科会」

邱意晴「結合という池田哲学思想を探求する」（清華大学）

林長昇「音楽を以て池田大作平和思想を探求する」（輔仁大学）

##### 「第2分科会」

蔡慈亮、劉廷揚「池田思想のレストラン・旅行業従事者のプレッシャー減少に対する啓発」（高雄師範大学）

王文彬「池田大作平和思想と儒家思想」（中山大學）

##### 「第3分科会」

許芷嫣「環境教育を以てサービス施設を解説し環境理念を述べる」（華梵大学）

廖奎鈞「創価教育学の比較教育研究」（大同大学）

##### 「第4分科会」

蕭鈞庭「池田大作の人間主義思想の科学技術の発展に対する影響」（台湾師範大学）

王彦淳「池田大作思想の企業像及び企業の社会的責任に対する影響」（台湾師範大学）

陳榮秋「PM2.5と環境保護行動」（国立中央大学）

##### 「第5分科会」

黃振豊「池田大作教育思想から託児センターの経営哲学を探求する」（台湾師範大学）

趙佩增「企業の社会的責任と構造的暴力」（中国文化大学）

羅巧容「池田大作の平和共生及び持続的発展思想の農業復興に対する影響」（台湾大学）

「第6分科会」

洪達媛「双方向展示における観客の行為・意向研究—創価芸文展を例として」（台湾芸術大学）

陳燕好「音楽を民衆の心の中へ—池田大作の観点から音楽の推進を述べる」（台北教育大学）

林心禹「池田大作平和共生論から音楽課程の設計を探求する」（台湾師範大学）

## 2. 池田研究の成果等

卓光平『战后日本文化语境中的“池田鲁迅”研究』（中国社会科学出版社2018年3月）が発刊された。

譚桂林『唤醒人们的诗心—池田大作文学创作初论』（南京大学出版社2018年5月）が発刊された。

日中友好学術研究助成プログラムで、「創価学会と中国社会科学界の交流研究—池田大作の中国の足跡から新時代の発展まで—」、「池田大作の平和共生構想研究—SGI提言を中心として—」が日本滞在研究助成として採択された。